

# 学際科学科 地理・空間コース 説明会

詳細な情報は以下のHPをご参照ください。

<http://www.humgeo.c.u-tokyo.ac.jp/>

## 内容

- 地理・空間コースのスタッフ
- 地理・空間コースの特徴
- カリキュラム（授業・実習）の特徴
  - ・ 野外実習
  - ・ 空間分析と可視化（地図化）
- 卒業論文
- その他

## 地理・空間コースのスタッフ (2020年度)

- 永田淳嗣教授(社会経済地理学, 農業・農村地理学, 東南アジア地域研究)
- 松原 宏教授(経済地理学, ドイツ地域研究)
- 横山ゆりか教授(建築計画学, 環境心理学)
- 梶田 真准教授(農村地理学, 公共政策の地理学)

- 鎌倉夏来准教授(経済地理学, 工業地理学)
- 田中雅大助教(社会地理学, 地理情報科学)

## 地理・空間コースの 定員と在籍者

- 学年の定員は同学科・科学技術論コースと合計で14名です
- 地理・空間コース所属の学生は4年生10名・3年生10名の計20名です。
- 毎年、文系・理系の双方から進学者がおり、学部学生・大学院生・スタッフの出身科類・学部も多様です。

## 地理・空間コースの目的

- 都市・農村問題，開発と環境，国土政策，地域経済，高齢化社会など，現代社会のさまざまな問題を空間的視点から考えていきます
- 問題の本質を，地域のコンテクストに即した形で理解し，効果的な政策の策定や地域・建造環境のデザインに応用することのできる人材を育成します

## 地理・空間コースの特徴（1）

- フィールドワークや一次データの分析を中心とした実証的な研究を重視しています。実際に現地に出向き、現場を観察し、関係者に直接話を聞くことで、リアリティを持った地域の記述・説得的な現象の説明を行うことを目指しています

## 地理・空間コースの特徴（1）

- ①野外実習（フィールドワーク）、②空間分析と可視化（地図化）の2つの実習に多くの時間を割いています
- これらの実習には大学院生のTAが配置され、丁寧な指導を受けることができます。

## 地理・空間コースの特徴（2）

- 勉強や研究テーマ選択の自由度の高さ
- 卒業のための単位として、他学部・他学科の単位を数多く認めています

## 地理・空間コースの特徴（3）

- 地域を扱っている学問分野は他にもありますが、地域・テーマ横断的に研究者・大学院生が集っている場は他にはないと思います
- 多様な視点からの議論が展開され、幅広い視野とバランスを獲得することができます

## 地理・空間コースの必修科目 について（講義）

- 地理・空間基礎論Ⅰ
- 地理・空間基礎論Ⅱ
- 自然環境論

## 地理・空間コースの選択科目

- 人口論
- 国土デザイン
- 都市地域デザイン
- 農村地域デザイン

## 地理・空間コースの選択科目

- 社会経済地理学 I・II
- 空間行動論
- 文化空間論
- 都市地理学
- 歴史地理学

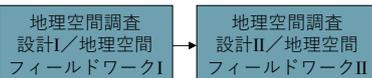
## 地理・空間コースの選択科目

- アメリカの自然と社会
- ヨーロッパの自然と社会
- ロシア・東欧の自然と社会
- ラテンアメリカの自然と社会
- アジアの自然と社会

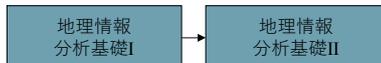
## 地理・空間コースの必修科目 について（実習）

2年Aセ      3年Sセメ  
メスター      スター

### 野外実習



### 空間分析と可視化 （地図化）の実習



※空間分析と可視化（地図化）についてはより高度な内容に関する選択科目としてAセメスターに「応用地理情報分析」が用意されています

## 野外実習（1）

- 2年Aセメスターと3年Sセメスターの2回実施
- 毎週の授業（地理・空間調査設計）と長期休暇期間中の3泊4日程度の実習（地理・空間フィールドワーク I・II）をセットで行います

## 野外実習 (2)

- 地理空間調査設計では (1) 調査地域・テーマに関する文献・統計・その他資料の検討, (2) 現地での調査計画の策定, (3) 現地調査の事前準備 (アポイント取りなど) などを行います

## 野外実習 (3)

- 野外実習では, 実際に調査地に出かけ, 各自で現地観察, 聞き取り調査, 現地資料の収集を行います
- 聞き取り調査などについては適宜, 教員もしくはティーチング・アシスタントが同行し, アドバイスを行います
- 毎晩, ミーティングを行い, その日得た知見について報告を行います

## 地域の有力者の方へのインタビュー



## 野外実習（4）

- 帰京後，調査結果をレポートにまとめて提出します。レポートは添削し，教員・TAがOKを出すまで加筆・修正を繰り返します
- 最終的にレポートを集めて報告書を刊行し，調査でお世話になった方々などに配布しています

## 野外実習の報告書

人文地理学野外実習報告シリーズ 第17

北海道十勝地方の農業・農村

目次

はじめに	高田 洋嗣	1
「新農業」以降の国家政策と十勝地方の農業の動向	西嶋 雅行	1
都市圏からの需要に資する経営形態	坂倉 隆一郎	11
北海道十勝地方の農業		
十勝地方農業の発展に対する考察	三 浦	23
— 都市圏からの需要に資する経営形態	早田 憲次	25
北海道における肉用牛経営の展開	佐藤 寛人	45
北海道農業における個別経営の発展と	大石 寛志	57
それ以外の取り組み		
地域における肉用牛経営の展開と	鈴木 寛人	63
経営経営の大規模化の可能性		

東京大学 教養学部 人文地理学教室  
2006

## 近年の実習地

- 三重県四日市市周辺（2019年度Aセメ）  
（新型コロナウイルス感染拡大のため未実施）
- 山形県酒田市周辺（2019年度Sセメ）
- 石川県白山市周辺（2018年度Aセメ）
- 京都府京都市周辺（2018年度Sセメ）
- 広島県広島市周辺（2017年度Aセメ）
- 北海道余市町周辺（2017年度Sセメ）